

CSR REPORT 2020

ENTETSU GROUP



遠鉄グループ一覧

🚆 運輸事業
🛍️ リテールサービス事業
🚗 モビリティサービス事業
🏠 レジャーサービス事業
🏢 不動産事業
👤 その他の事業

遠州鉄道(株) 運輸事業 / 不動産事業 保険代理業 / 介護事業	(株)トヨタレンタリース浜松 カーリース、レンタカー事業	遠鉄観光開発(株) 遊園地業 / 旅館業 / ホテル業 索道(ロープウェイ)業 / レストラン業
(株)遠鉄百貨店 遠鉄百貨店友の会 百貨店業	遠鉄石油(株) 石油製品販売業	遠鉄建設(株) 建設工事業
(株)遠鉄ストア 食品スーパー業	遠鉄タクシー(株) タクシー事業	(株)遠鉄自動車学校 自動車運転教習業
静岡トヨタ自動車(株) 新車・中古車の販売業	遠鉄アシスト(株) 業務請負業 / ビル管理業 / スポーツクラブ事業	遠鉄システムサービス(株) 情報サービス業

Top Message トップメッセージ

「地域とともに歩む総合生活産業」として
全社一丸となって、刻々と変化する情勢に
対応してまいります。

私たち遠鉄グループは、鉄道やバスなどの運輸事業を中心に
培われてきた「信頼」をもとに、百貨店、食品スーパー、自動車販売、
レジャーサービス、不動産、保険、介護等、地域の皆様の生活に
密着した事業を展開する企業集団へと発展を遂げてまいりました。

遠鉄グループが事業活動を行う上で、変わらない価値観と
しているのが、社是・経営理念・経営方針です。社是は経営上
の方針であり、経営理念は企業行動における基本的な価値観
を示しています。また経営方針は、経営の行動指針を示し、4つ
の行動指針を掲げています。

地域の皆様の生活に密接に関わっている遠鉄グループだから
こそ、「安心・安全」を背景に、さらなる「信頼」をいただくことで、
お客様、地域の皆様、従業員が「あってよかった」と感じる企業
集団となれますよう、これからも努めてまいります。

遠州鉄道株式会社 取締役社長
齊藤 薫



遠鉄グループ企業理念

社是

奉仕

いつも誠実に職務を通じて
社会のために奉仕しよう

前進

仕事に誇りと自覚を持って
意欲的に前進しよう

幸福

私たちの幸せのために
遠鉄グループの
繁栄を築いていこう

経営理念

地域とともに歩む総合生活産業として
社会に貢献する

経営方針

顧客本位

私たちは、お客様情報の保護に十分配慮しつつ、お客様
との対話を通じ、期待を超える商品・サービスを提供す
る様、努力し続けます。

地域との共生

私たちは、地域の皆様に愛され、信頼される存在となる
ために、「よき企業市民」として法令を遵守し、自然環境
を守り、社会に貢献します。

社員重視

私たちは、社員一人ひとりの個性を尊重し、多様な価値
観を積極的に取り入れ、いきいきと働ける活気ある職場
をつくります。

独自能力

私たちは、独自の見方、考え方、方法を学ぶことにより、
独自の価値を創造できる能力を磨き、発揮します。

遠鉄グループCSR

これからの未来のために、私たち、遠鉄グループができること。

遠鉄グループでは、遠鉄グループCSRを推進するにあたり、「コン
プライアンス遵守」「地域とのコミュニケーション」「ワークライフ
バランスの推進」を重点課題として掲げています。グループ横断組
織であるCSR委員会を中心に、グループ従業員全員が、重点課

題を意識し、同じ想いで、日々の業務に取り組んでまいります。そし
て、お客様、地域の皆様、従業員自身が「あってよかった」と感じて
いただける遠鉄グループになることを目指してまいります。

CSR推進体制

遠鉄グループでは、グループ横断組織であるCSR委員会を中心に、
CSR活動を推進しています。グループの垣根を越えたコラボレーシ
ョンの拡大や、人事交流などを実施し、グループ意識の醸成を図るこ
とで、シナジー（相乗効果）をさらに高め、新しい価値の創造に邁進し
ています。

取締役会


代表取締役

- リスク管理委員会
- 営業マーケティング委員会
- 総務人事委員会
- CSR委員会
- 経営人材育成委員会
- グループ経営会議

事業本部、グループ会社

遠鉄グループは、企業理念に基づき当社グループが果たすべき社会的責任 (CSR: Corporate Social Responsibility) に対する姿勢や取り組みについてステークホルダーのみなさまにご理解いただくために、2015年度から「遠鉄グループ CSRレポート」(PDF) を発行しています。

2020年度は、下記5つの視点で各社・各事業部の取り組みを紹介し、例年よりさらに網羅的なCSR情報の開示に努めました。本レポートによりステークホルダーのみなさまに当社グループのCSR活動をご理解いただき、より深い信頼関係を築きながら、CSR活動を推進してまいります。




新型コロナウイルス感染拡大防止と収束に向けた企業努力



環境・社会への配慮



脱炭素社会実現に向けての取り組み



ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底



多様な働き方を支える取り組み

目次

新型コロナウイルス感染拡大防止と収束に向けた企業努力

遠州鉄道	在宅勤務・時差出勤の実施	P05
	遠鉄バスの感染防止対策	P05
遠鉄百貨店	デジタルを活用した顧客接点の拡大	P06
	天竜材を使用した飛沫防止シールド・パーテーションの設置	P06
遠鉄ストア	新型コロナウイルス感染症対策	P07
トヨタレンタリース浜松	トヨタ足踏み式消毒スタンドの設置	P07
遠鉄石油	消毒・換気の実施と飛散防止パネルの設置	P08
遠鉄スポーツクラブエスポ	パーテーション・光触媒方式除菌消臭機器の設置	P08
遠鉄観光開発	各種感染拡大防止対策の実施	P09
遠鉄建設	ヘルメットへのマウスシールド装着・消毒スプレーの携帯	P09
遠鉄システムサービス	来客用顔認証体温測定・従業員検温システム	P10

環境・社会への配慮

遠鉄グループ	献血サポーター活動	P11
遠州鉄道	歩行者事故防止の啓発活動に協力	P11
	ボーイスカウト浜松第11団(遠鉄ボーイスカウト)の運営	P12
遠鉄百貨店	自然環境を意識した館内装飾の実施	P12
遠鉄観光開発	サラダの無償提供で医療従事者を支援	P13
	高校生吹奏楽イベント	P13
遠鉄自動車学校	交通安全教室・社会科見学	P14
	高齢者講習センター開設	P14
遠鉄システムサービス	浜松市中学生職業インタビュー	P14
遠鉄観光開発	ボランティア清掃	P15
遠鉄石油	地域道路清掃活動	P15
遠鉄アシスト	浜名湖周辺の清掃活動	P16
遠鉄建設	月初清掃	P16

脱炭素社会実現に向けての取り組み

遠鉄ストア	エコトレー・バイオマス配合レジ袋の積極的な活用	P17
静岡トヨタ	水素燃料電池車「MIRAI」無償貸し出し	P17
遠鉄石油	遮熱フィルム貼り施工実施	P18
遠鉄建設	太陽光発電	P18

ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底

遠鉄グループ	コンプライアンス・ホットライン	P19
遠州鉄道	防災・避難訓練	P19
	交通安全の徹底	P20
遠鉄グループ	飲酒運転の撲滅	P20

多様な働き方を支える取り組み

遠州鉄道	ワークライフバランスの推進	P21
遠鉄グループ	グループ従業員を対象とした保育施設運営	P21
遠州鉄道	障がい者雇用の拡大	P22
遠鉄グループ	異業種交流会の実施	P22
	ITツール活用によるリモートワークの促進	P23
	RPAによる定型業務の自動化	P24
	申請手続きの電子化・ペーパーレス促進	P24



新型コロナウイルス感染拡大防止と収束に向けた企業努力

在宅勤務・時差出勤の実施



遠州鉄道では、通勤時の新型コロナウイルス感染リスク回避および、オフィス内におけるソーシャルディスタンス確保のため、在宅勤務や空きスペース等を活用した社内テレワークを実施しました。

また公共交通事業者として、公共交通機関におけるピーク時の混雑緩和のため、通常出勤時の前後1時間程度を目安に時差出勤の対応を実施しました。



▲社内テレワークスペース

遠鉄バスの感染防止対策



遠鉄バスでは、バスの運行に際して、感染防止のために乗務員は手洗い・うがいの励行と体調管理を徹底するとともに、待機時にはバス車内の換気と除菌剤で手すりや吊り革などを中心に車内除菌を行っています。

また、貸切バスや高速バスには客席に飛沫防止ボードを設置し感染防止に努めています。



▲検温の実施



▲客席用飛沫防止ボード

デジタルを活用した顧客接点の拡大



遠鉄百貨店では、外出自粛期間においてデジタルを活用した顧客接点を拡大すべく、新しい販売方法の取り組みを行いました。BOPIS (Buy Online Pickup In Store) と呼ばれる「商品をネットで注文・決済し、店舗で受け取るサービス」の拡大や、ランドセルのオンライン接客販売を実施するなど、EC (電子商取引) の強化を図り、店舗での滞在時間短縮に努めることで、新しい生活様式に対応し、安心してお買い物していただける環境の整備を進めました。



▲ランドセルのオンライン接客販売

天竜材を使用した飛沫防止シールド・パーテーションの設置



遠鉄百貨店では、お客様と従業員への安全の提供に向け、館内に飛沫防止シールドを設置しました。なお、館内数か所のお勘定場には、浜松市内のFSC認証林から生産された木材(天竜材)を使用したパーテーションを設置し、感染拡大防止とともに、環境保全に貢献するよう努めました。



▲パーテーション設置の様子



▲FSC認証マーク



新型コロナウイルス感染症対策

遠鉄ストア

遠鉄ストアでは新型コロナウイルスの感染拡大の中、お客様と従業員の安全確保と、地域の食のライフラインを守る為、各種の感染症対策を実施しました。

「買い物カゴ・カートの消毒」「試食販売・バラ販売の中止」
「イートインコーナーでの飲食の中止」「お客様用消毒液の設置」
「レジ・サービスカウンターへの飛沫防止パネルの設置」「従業員の出勤前検温」など。



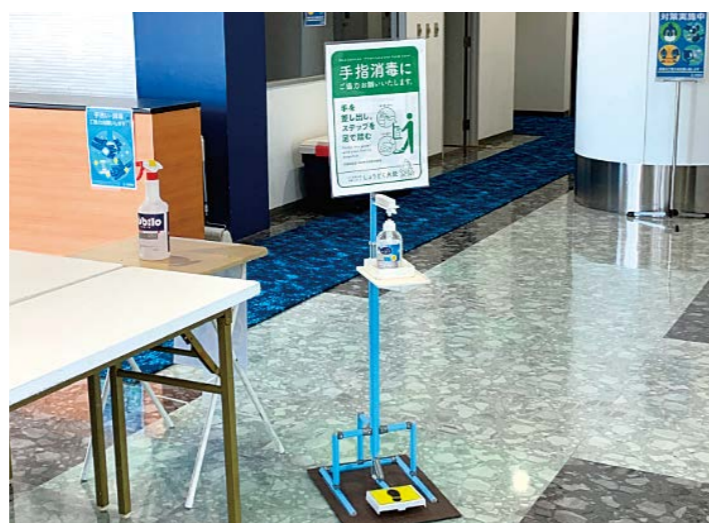
▲飛沫防止パネル

トヨタ足踏み式消毒スタンドの設置

トヨタレンタリース浜松

新型コロナウイルスの感染拡大が深刻になる中、トヨタ自動車の各工場において「仲間から感染者を出さない」という意識のもと、クルマをつくる技術を活かして、「足踏み式消毒スタンド」が作られました。

トヨタレンタリース浜松では、この「足踏み式消毒スタンド」を購入し、事務所と店舗に設置するとともに、提供されたサンプルをリース車両のお客様であるジュビロ磐田様にもご提供し、新型コロナウイルス感染防止に努めました。



▲足踏み式消毒スタンド

消毒・換気の実施と飛散防止パネルの設置

遠鉄石油

遠鉄石油では、サービスステーションで一日に数回、計量機・画面・客席テーブル等の消毒、換気を実施し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めています。また、接客テーブルに地域資源の天竜材を活用した飛沫防止パネルを設置し、対面接客時の感染拡大防止に努めるとともに、環境保全に貢献するよう努めました。

本社事務所についても、一日に4回ドアノブ・スイッチ等の消毒、換気を実施するとともに、対面事務員に対し飛沫防止パネルを設置しています。



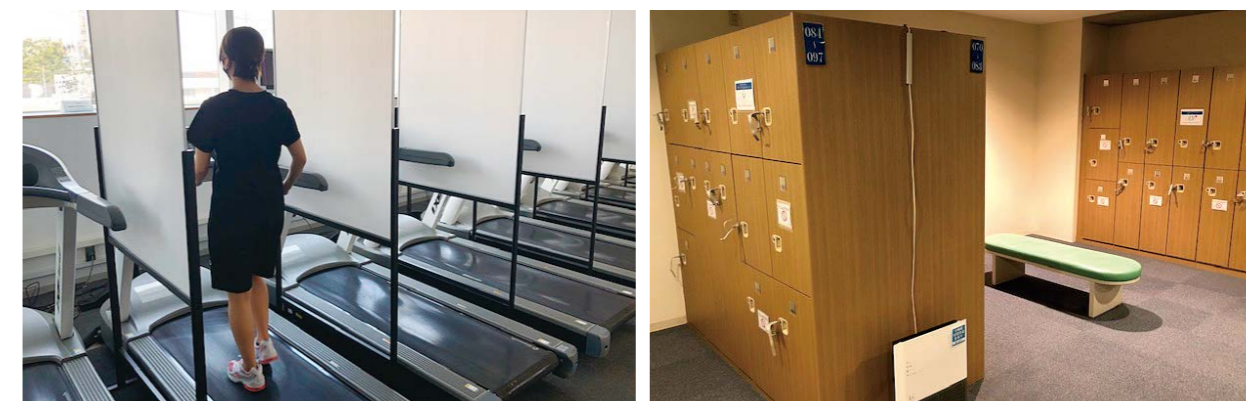
▲天竜材 (FSC認証材) を使用した飛沫防止パネル

パーテーション・光触媒方式除菌消臭機器の設置

遠鉄アシスト

遠鉄スポーツクラブ・エスポでは、会員の皆様に安心して施設をご利用いただけるよう、衛生管理を徹底しています。

浜松・袋井それぞれの施設において、ランニングマシンの間に飛沫防止パーテーションを設置し、更衣室など各所に光触媒方式の除菌消臭機を設置しました。



▲飛沫防止パーテーション

▲除菌消臭機



各種感染拡大防止対策の実施



遠鉄観光開発では、来館者の検温・消毒の実施、従業員のマスク・フェイスシールドの着用、接客カウンターへの飛沫防止パネルの設置など、各施設で感染拡大防止対策を実施するとともに、密を回避するための入場制限を行いました。また、ホテルウェルシーズン浜名湖ではビュッフェの際に料理を小皿盛りで提供し、華咲の湯では浴場の混雑具合をHP上で表示するなど、施設ごとでも対策を実施しつつ、お客様が安全にご利用いただける施設運営に努めました。



▲来客者用の検温機



▲飛沫防止パネル

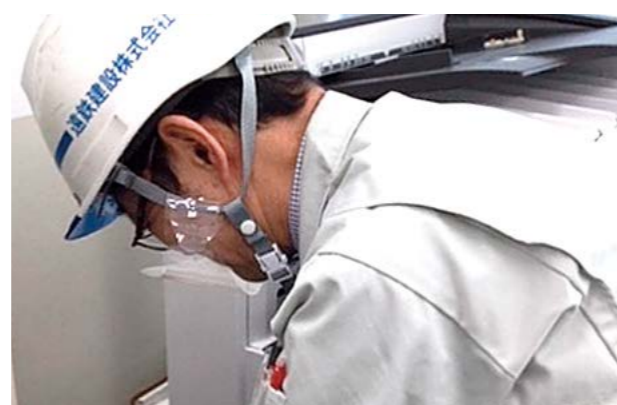
ヘルメットへのマウスシールド装着・消毒スプレーの携帯



遠鉄建設では、ヘルメットに取り付ける形式のマウスシールドを建設現場の作業員に配布しました。夏の炎天下の中、マスクをつけての作業は作業員に大きな負荷をかけるため、マウスシールドに変更することで、作業員の体調に配慮しながら新型コロナウイルス感染拡大防止に努めました。また、携帯用の消毒スプレーを全社員に配布し、消毒の徹底を図りました。



▲携帯用消毒スプレー



▲ヘルメット装着型マウスシールド

来客用顔認証体温測定・従業員検温システム

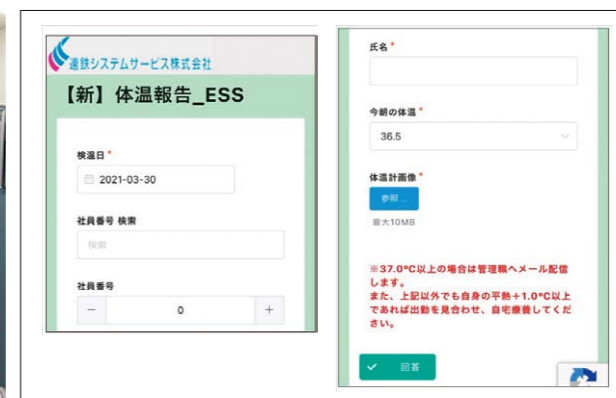


遠鉄システムサービスでは、お客様の体調把握と従業員の感染リスク削減のため、顔認証体温測定システムを導入しました。

また、従業員には、休日も含めたすべての日に検温報告を義務づけており、37℃以上の場合は社内共有し、休暇・在宅・検査等の対応を実施するルールを定めました。



▲来客用顔認証体温測定システム



▲従業員検温システム



環境・社会への配慮

献血サポーター活動



遠鉄グループでは、2016年10月から献血協力に取り組み、静岡県の献血者人口の底上げを目指しています。2020年度は献血協力と並行して骨髄ドナー登録の推進も実施し、当社オリジナルの啓発ポスターやチラシなどを事務所に掲示したほか、遠鉄百貨店新館前での献血活動を3回実施するなど、年間を通して活動いたしました。

今後も血液の安定供給と骨髄ドナーの登録者拡大に貢献すべく、社員一人一人の当事者意識を育成できるよう活動してまいります。



▲啓発チラシ

歩行者事故防止の啓発活動に協力



遠州鉄道では、静岡県警察が推進している歩行者事故防止対策「しずおか・安全横断3つの柱」について、遠鉄百貨店新館壁面の「えんてつビジョン」や遠鉄電車の各駅に設置のデジタルサイネージに啓発映像を放映し、周知を図りました。

この取り組みに対し、静岡県警察から当社に対し感謝状が贈呈されました。

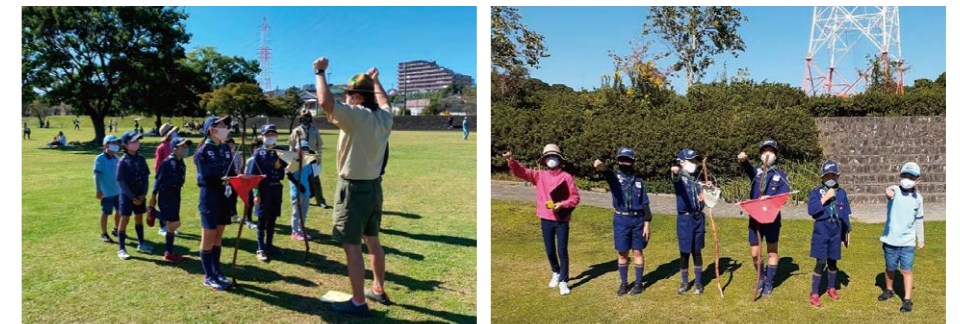


▲感謝状贈呈式の様子

ボーイスカウト浜松第11団 (遠鉄ボーイスカウト) の運営



ボーイスカウト浜松第11団は昭和38年に企業内スカウト団「遠鉄ボーイスカウト」として設立され、「より良き社会人の育成」を目指し遠鉄グループ従業員のお子様を対象として活動しています。新型コロナウイルス感染防止のため活動が制限される中、2020年度は6名の新入隊員を迎え10月には入隊式を開催。感染状況に配慮し、各家庭での活動や野外活動を中心に実施しました。



▲ボーイスカウト浜松第11団

自然環境を意識した館内装飾の実施



遠鉄百貨店では、自然環境を意識した館内装飾に向け、地元のお取引先様である石牧建築様、鈴三材木様のご協力いただき、FSC*認証材(天竜材)による住宅の構造材から出た端材で作られたクリスマス装飾をイ・コ・イ スクエアに設置しました。

*FSC (Forest Stewardship Council・森林管理協議会)は、責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする、独立した非営利団体であり、国際的な森林認証制度を運営しています。





サラダの無償提供で医療従事者を支援



遠鉄観光開発では、新型コロナウイルスの最前線で感染症治療にあたられている医療従事者に対して、遠鉄グループとして感謝と敬意を表し、新鮮な地元野菜のサラダを、対象となる病院に1日30個無償で提供しました。

サラダは、「浜松パワーフード学会」会員農家を中心に新鮮な採れたて野菜を使用したホテルコンコルド浜松シェフによるオリジナル商品です。



高校生吹奏楽イベント



遠鉄観光開発では、浜名湖パルパルにて、コロナ禍で発表の場が少なくなった高校生吹奏楽部の演奏会・パレードを実施しました。

浜名湖パルパルのイベントの一環として10、11月に6回開催、4校の高校吹奏楽部の皆様にご参加いただきました。



交通安全教室・社会科見学



遠鉄自動車学校では、4月～9月に幼稚園児や小学生、延べ165名に交通安全教室を実施し、10月～12月に高校生や高齢者、延べ149名に自転車乗車等の安全教室を実施しました。これらの座学や体験講座を受講した方々には、改めて交通安全に対する意識を高めて頂きました。

また、7月には小学生55名を対象に、「お店たんけん」と称した社会科見学を実施し、自動車学校の仕事について分かりやすく紹介しました。



▲社会科見学の様子



▲交通安全教室

高齢者講習センター開設



遠鉄自動車学校では、県西部初となる高齢者講習のみを専門に行う『高齢者講習センター』を浜松自動車学校隣接地に開設しました。これにより毎月900名超の方が講習を受講することが可能となり、社会問題となっている高齢者講習受講待ち問題の解消に貢献しています。

また、高齢者講習の専門施設のため、免許取得の若年者等との接触がないことや数々の感染防止対策により安全・安心に講習が受講できる環境を提供しています。



浜松中学生職業インタビュー

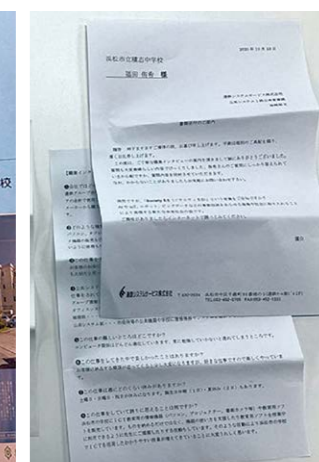


遠鉄システムサービスでは、毎年、浜松市中学校から複数の職場体験の受け入れをしています。

今年度は郊外活動の実施が困難な状況のため、職場インタビューという形で、生徒からインタビュー内容を受け取り、ご回答をすることで仕事に対するやりがいや苦勞などを学んでいただきました。



▲生徒からの質問状



ボランティア清掃



遠鉄観光開発では、館山寺地区、ホテルコンコルド浜松周辺（浜松東照宮）でボランティア清掃を実施しました。

2020年度は計5回実施し、延べ132名の従業員が参加しました。



地域道路清掃活動



遠鉄石油では年に4回、流通元町本社近くの県道65号浜松環状線の道路清掃を実施しています。

始業前の早朝に、30分程度の清掃活動を行うことで、道路（歩道）がきれいになるだけでなく、従業員の地域奉仕活動に対する意識が向上いたしました。



浜名湖周辺の清掃活動



指定管理施設の浜名湖体験学習施設ウォットでは、施設近くの砂浜の清掃活動を実施しました。一般の方と施設スタッフでごみ拾いをし、ペットボトルやプラスチックごみなどを回収しました。

地域の環境美化につとめると共に、その大切さを改めて感じる機会となりました。



月初清掃



遠鉄建設では、毎月の月初朝礼が始まる前に、本社周りの道路のごみ拾いや落ち葉収集を行っています。

2012年から始まったこの活動は、浜松市から評価され、2019年度には道路愛護推進の感謝状を頂くことができました。





脱炭素社会実現に向けての取り組み

エコトレー・バイオマス配合レジ袋の積極的な活用

e.遠鉄ストア

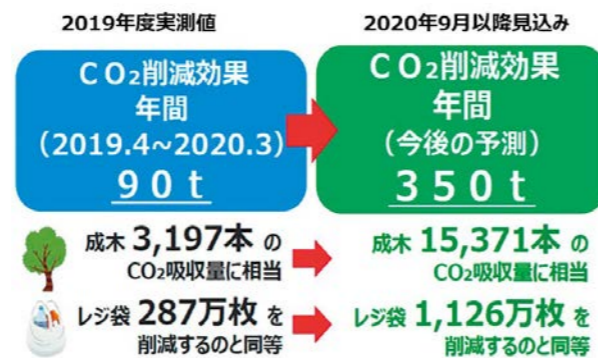
遠鉄ストアでは、2020年9月より生鮮部門で使用している包装資材の変更を行いました。CO2の排出を抑制できるリサイクル原料使用のエコトレー使用量を増やし、年間で350tのCO2削減効果を見込んでいます。また、使い捨てプラスチック製品のゴミ問題に前向きに取り組むべく、2020年7月からレジ袋の種類を10種類から5種類に集約し、バイオマス配合率30%プラスチックに切り替え、有料化を行いました。

※バイオマス配合レジ袋…再生可能な生物由来の資源を原料に使用しており、焼却時のCO2排出量を抑制。

e.遠鉄ストアはCO₂削減に貢献するエコトレーを使用しています。

私たちが1年間エコトレーを使用したことで、**CO₂ 約90t** 成木 **約3,197本** のCO₂抑制効果につながりました。
2019年4月～2020年3月実績

エコトレーのご利用により削減されたCO₂は、「エコトレー」にも含まれます。いつもエコトレーご回収にご協力下さり、ありがとうございます。



水素燃料電池車「MIRAI」無償貸し出し

For your smile, For our smile.
静岡トヨタ

静岡トヨタ自動車は水素エネルギーの活用による町づくりの推進に貢献すべく、水素燃料電池車「MIRAI」を静岡県・静岡市・御殿場市に無償で貸し出しをするなど、水素エネルギーの普及に努めています。



▲水素燃料電池車「MIRAI」(ラッピング車両)

遮熱フィルム貼り施工実施



遠鉄石油では、遮蔽物等が無く、朝日・西日が強く差し込み、熱がこもり高熱になりがちな事務所の1階窓に、遮熱フィルム貼りを実施いたしました。事務所内エアコンの冷房効率を向上させ、CO₂排出量の削減に努めました。



太陽光発電



遠鉄建設では、2013年からグループ各施設の屋根や村檜・天竜の土地に太陽光発電施設を設置し、設置数は計39カ所になりました。2020年度の発電量は13,564Mwh※となり、CO₂の削減量は5,400tになりました。

※一般家庭4520世帯の1年分の電気使用量に相当
設備課の電気工事担当者がメンテナンスを行い、安定した発電ができるよう努めています。





ガバナンスの強化と コンプライアンスの徹底

コンプライアンス・ホットライン



遠鉄グループでは、グループ内の自浄作用を発揮し、コンプライアンスを実践していくために、社内通報制度を定めるとともに、外部相談窓口として「企業倫理ホットライン」「こころと暮らしのほっとライン」を設け、職場へのポスター掲示や携行カードの配布、社内メールでの告知等、利用促進の取り組みを実施しています。



▲携行カード



▲啓発ポスター

防災・避難訓練



遠州鉄道では、不慮の災害発生に備え、防災備蓄品の点検を実施し、拡充を図るとともに、地震・火災等を想定した防災訓練も定期的に行い、災害用無線の動作確認や、各種防災要員の行動確認を行っています。

また、BCP(事業継続計画)の定期的な見直しもグループ全体で取り組んでいます。



▲防災備蓄品の点検

交通安全の徹底



遠州鉄道では、一時停止違反の撲滅を目標に「二段階停止の厳守」のキャンペーンステッカーを社用車に掲出して意識づけし、違反撲滅に取り組みました。

また、社用車運行管理システム「トランスログ」からの運転解析データに基づく、個人毎の安全運転指導も行っています。



▲キャンペーンステッカー



飲酒運転の撲滅



遠鉄グループでは、飲酒運転の撲滅を目指し、従業員のアルコールチェックを徹底しています。毎日の出勤時や自動車を使用する場合、職場でのアルコールチェックを義務付けし、特に飲酒習慣のある者へは、自宅での携帯用チェッカー使用を推奨しています。

またアルコール検知者には後日、本人と所属長を対象とした、再発防止の為の惹起者教育を定期的に行っています。



▲携帯用アルコールチェッカー



▲アルコールチェックの様子



多様な働き方を支える取り組み

ワークライフバランスの推進



遠州鉄道では、多様化する従業員個々人の価値観・ライフスタイルに対応するため、子育て支援や働きやすい環境づくりをはじめ、「仕事」と「家庭」の両立支援によるワークライフバランスの推進に取り組んでいます。

2015年には「次世代育成支援対策推進法」に基づく行動計画の策定・実施により、「仕事」と「家庭」の両立支援のための環境、多様な労働条件の整備に取り組んでいる企業として、厚生労働省から「次世代育成支援企業」の認定を受け「くるみん」を取得しました。

2020年度も下記のような制度の活用を推奨し、育児休業制度については60名（うち男性3名）が利用しました。

【ワークライフバランス推進の取り組み】

- 労働時間の削減（フレックスタイム制、ノー残業デー）
- 育児・介護短時間勤務制度
- 年次有給休暇取得促進（誕生日休暇、計画的連休取得制度など）
- 家族の看護・介護休暇制度
- 育児休業（子が1歳6か月に達した最初の4月末日まで）・介護休業制度
- 結婚祝金・出産祝金
- 育児休業者交流会

グループ従業員を対象とした保育施設運営



遠鉄グループでは、2017年4月よりグループ従業員の0歳から5歳までの児童を対象とした企業内保育所を運営しています。子どもを預けて働きたい育児世代に向けて上質な保育環境を提供し、安心して仕事ができる環境づくりを推進しました。

保育所は浜松市に4施設、磐田市に1施設と各職場から近い施設を利用できるよう広範囲に展開し、2020年度は合計定員179名に対し、0～2歳児を中心に計114名の児童をお預かりしました。



障がい者雇用の拡大



遠州鉄道では、障がいによって就労の機会に恵まれない方々が社会経済活動に参加できる社会の実現に向け、障がい者雇用の拡大に努めております。2020年度は厚生労働省が定める法定雇用率2.2%に対し、当社の雇用率は2.49%となりました。遠州鉄道では社内に業務サポートチームを設け、障がいのある方が書類のスキャン作業やオフィス・電車内の清掃・消毒作業など多岐に渡る業務に従事し、個人の能力・適性に合わせていきいきと働いています。また、職場で障がいを持つ人と共に働くという経験を通じ、一人一人が障がい者雇用への理解を深めています。



▲電車内の清掃・消毒作業



▲スキャン作業

異業種交流会の実施



遠鉄グループでは、「やらまいか若手交流会」と題し、異なる業種の企業の同世代と共通のテーマを基に課題と解決策をディスカッションする交流会を2018年度より主催しています。2020年度はグループ会社8社、グループ外の会社10社が参加し、遠州鉄道の従業員が事務局を務め、全4回の交流会を実施しました。

他業種・他職種との交流で見識を広げ、将来にわたる地域での人脈形成を会社図るとともに、「人口減少に立ち向かうために遠州地域があるべき姿」をテーマに議論を行い、持続可能な社会の実現に向けて知見を深めました。



▲交流会の様子





多様な働き方を支える取り組み

ITツール活用によるリモートワークの促進



遠鉄グループでは、コロナ禍において加速的に広まったリモートワークに対応すべく、FWP*・セキュアブラウザ*といったITツールを導入し、オフィス以外の場所でも自社ネットワーク、ファイルサーバーに安全にアクセスできる環境を整備しました。自宅や出張先などでもオフィスと同様に業務が行えることで、従業員それぞれが各自の業務内容・スケジュールに応じた効率的な働き方を選択できるようになりました。

こうしたツールの導入とともに、ネットヨタ浜松の店舗内や移転して空室となった旧遠鉄タクシー営業所といったグループの拠点内に、外出機会が多い保険スタッフを対象としたサテライトオフィスを整備し、移動時間の短縮に努めることで生産性の向上を図りました。

※FWP (フレックスワークプレイス)

外出先でもオフィスと同じ環境で利用可能なパソコン。パソコン本体にデータを保存しないため、紛失等によるセキュリティリスクを回避できる。

※セキュアブラウザ

セキュリティ機能に特化したブラウザ。一般的なWebブラウザの基本機能を持ちながら、不正アクセスや情報漏えいを防止するための対策が施されている。



▲ネットヨタ浜松内 サテライトオフィス



▲旧遠鉄タクシー営業所 サテライトオフィス

RPAによる定型業務の自動化



遠鉄グループでは、近年の働き方改革により問題意識が高まっている長時間労働の是正や、労働人口の減少といった社会問題に対応するため、社員が行っている定型業務(入力・検索・抽出など)を、ソフトウェアロボットにより代替・自動化する「RPA (Robotic Process Automation)」を実践し、2020年度には累計400件を超える業務がRPAによって運用されました。

【2020年度実施例】

従業員の通勤手当精算業務において、従来は一人ひとりの申請内容に基づき人事担当者が自宅と職場の距離を検索し該当する金額を算出していましたが、RPAを用いることで、距離の検索と金額の算出を自動で行えるようになり、毎月の処理にかかる工数を大幅に削減することができました。



【導入前】

- ・申請者が通勤距離を自力で計算し紙の申請書へ記入
- ・人事担当者が地図サイト等で距離を確認といった複数の作業が発生

【導入後】

申請者が住所と勤務地をスマホやPCで入力することで、RPAによって自動的に距離を計算し、通勤手当を算出

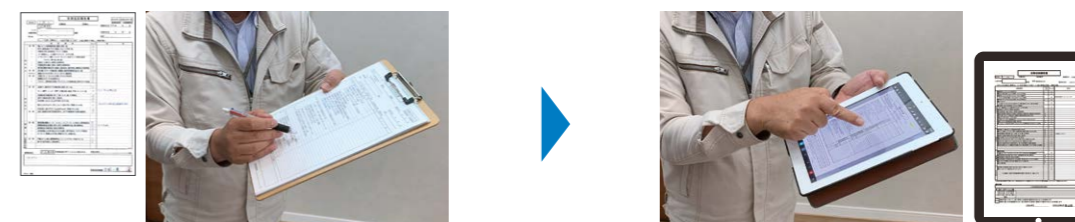
申請手続きの電子化・ペーパーレス促進



遠鉄グループでは、社内の稟議書並びに決裁書、年末調整をはじめとした申請手続きや、グループ会社間の請求書といった各種書類を電子データで作成・回付することを促進し、社内資料のペーパーレス化に積極的に取り組んでいます。

【2020年度実施例】

住宅事業部では、住宅の定期点検において、従来は手書きにて報告書を作成していましたが、スマホやタブレットを利用して報告書を作成できるアプリ「i-Reporter」を活用し電子化しました。月90件もの報告書が電子データで作成できるようになったことで、入力・転記・保管といった業務が効率化し、従業員の事務負担が大幅に軽減しました。



【導入前】

手書きで報告書を作成し、報告書の内容を顧客管理システムへ手入力して転記するなど複数の作業が発生

【導入後】

タブレット1台で報告書の作成、顧客管理システムへの反映を一貫して行えるように